建設技術審査証明事業（建築技術）
審査技術概要シート

建設技術審査証明事業実施機関
一般財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan

［審査証明番号／有効期限］	ＢＣＪ-審査証明-240／2029 年 9 月 25 日
［技術の名称］	施工時環境配慮型改質アスファルト防水工法「クロスアーマー防水」
［依頼者（審査証明取得者）］	昭石化工株式会社

［技術概要］

クロスアーマー防水は、溶融釜を用いない改質アスファルトシート２層防水工法である。

本工法は１層目として裏面に部分的に粘着層を設けた下張り用改質アスファルトシートを常温粘着工法で施工し、その表面をトーチバーナーで加熱溶融して得られる改質アスファルトを張付け材として、2 層目の改質アスファルトシートを施工する工法である。溶融した改質アスファルトが張付け材として十分な量となっていることを確認し、専用器具を用いて押し拡げることで、張付け材が均一に行きわたるため、従来のアスファルト防水熱工法と同様の防水層を形成できる。

［開発の趣旨］

従来のアスファルト防水熱工法の防水信頼性を確保しつつ、次の従来工法の問題点を解消する工法を開発した。

(1) 防水工事用アスファルトを溶融釜によって施工現場で溶融するため、環境への負荷が大きい。

(2) アスファルトルーフィング類を 3～4 枚積層して防水層を形成するため、使用する材料の量及び施工工程数が多くなる。

本工法は１層目として裏面に粘着層を部分的に設けた下張り用改質アスファルトシートを常温粘着工法で施工し、その表面をトーチバーナーで加熱溶融して得られる改質アスファルトを張付け材として 2 層目の改質アスファルトシートを施工する工法である。これにより、溶融釜を使用する必要がなくなるため、環境負荷を低減できる。また、改質アスファルトを適用することで、積層数を削減し、材料の量及び施工工程数を削減している。

本工法の仕様は、保護防水仕様 XAF-25 <A-1・A-2・B-1・B-2>、保護断熱防水仕様 XAF-35S <AI-1・AI-2・BI-1・BI-2>、露出防水仕様 XAS-25 <D-1・D-2>、露出断熱防水仕様 XAS-35U<DI-1・DI-2>の 4 種類がある（ < > 内の記号は対応する従来の熱工法（公共建築工事標準仕様書または公共建築改修工事標準仕様書）による防水層の仕様）。

［開発目標及び審査証明結果］

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発の目標に照らして審査された結果は、以下のとおりである。

(1) クロスアーマー防水は、従来の熱工法によるアスファルト防水層と同等の防水機能を有するものと判断される。

(2) クロスアーマー防水は、従来の熱工法によるアスファルト防水層と比較して防水層の質量を軽減し、施工工程数を削減するとともに、環境負荷を低減するものと判断される。

対比仕様表

種別	クロスアーマー防水	公共建築工事標準仕様書、公共建築改修工事標準仕様書の防水層
保護防水	XAF-25	A-1・A-2・B-1・B-2
保護断熱防水	XAF-35S	AI-1・AI-2・BI-1・BI-2
露出防水	XAS-25	D-1・D-2
露出断熱防水	XAS-35U	DI-1・DI-2

［本技術の問い合わせ先］

企業名：昭石化工株式会社
部署名：建材技術製造部　技術開発課
TEL：03-5965-9002／FAX：03-5965-9011

本概要シートは、土木・建築関係団体により設立された「建設技術審査証明協議会」の会員として、一般財団法人 日本建築センター（BCJ）が実施した「建設技術審査証明事業（建築技術）」の結果を広く紹介する目的で作成したものです。